



会長挨拶（細江岐阜市長）



来賓挨拶（八鍬中部地方整備局長）

『治水事業の強力かつ着実な推進を！』 中部直轄河川治水期成同盟会連合会が岐阜市で総会

- 岐阜、三重、愛知、静岡、長野5県の関係19団体で構成する中部直轄河川治水期成同盟会連合会（会長：ほそえ しげみつ 細江茂光岐阜県木曽三川改修工事促進期成同盟会会長）は7月18日（金）、岐阜市長良福光の岐阜都ホテルやくわ たかしで今年度総会を開いた。要望活動実施などを盛り込んだ事業計画を承認。総会終了後、八鍬隆中部地方整備局長に対し提言活動を行った。
- 同盟会会長の細江岐阜市長は「治水が国土を保全し、国民の生命と財産を守る最も根幹となる社会資本整備であり、たとえ財政状況が厳しくとも計画的かつ着実に実施していかなければならない」と挨拶。「今後も、全国各地でみられる時間雨量100mmを超える集中豪雨の頻発や台風の激化など、異常気象の常態化、さらには南海トラフ巨大地震等の大規模災害の発生が危惧されることから、ハード・ソフト対策が一体となった防災・減災対策や高度成長期に整備された河川管理施設等の老朽化対策の一層の推進が求められる」と明記した上で、「安全で安心な社会を実現するため、治水事業費等を増額し、事前防災・減災対策を強力に推進することを求める」など11項目の具体的な主張を盛り込んだ。さらに河川別の要望事項も付記した。
- 総会後は、国土交通省 水管理・国土保全局のつかはら ひろかず 塚原浩一河川計画課長による講演「河川事業に関する最近の話題」を聴き、さらに開催地視察として、大垣市内を流れる杭瀬川の河川整備現場や「奥の細道むすびの地記念館」を訪ねた。



杭瀬川の河川整備現場を視察する一行（大垣市静里町地内）